

卒業、入学の季節 彩る花

スイートピー 品質こだわり

J A愛知みなみ

【愛知みなみ】J A愛知みなみスイートピー出荷連合が栽培するスイートピーが卒業式、入学式に向けて出荷の最盛期を迎えた。

出荷は4月まで続き、中京・関東地方を中心に約1万6000箱出荷す

る見込みだ。今季は夏の暑さの影響で出荷に遅れが見られたが、生産者の栽培技術で高品質に仕上がっている。

同出荷連合は県内1位の出荷量で、11人が「ファーストレディー」「クレア」「雪の華」など20品種以上を栽培する。生産者自身による厳しい選別をはじめ、出荷前に生産者、J A担当職員の2段階で検査を行い、統一

された品質のスイートピーが出荷される。

J A担当職員は「出荷連合のスイートピーは市場から高く評価してもらっている。卒業式や入学式などで贈ってもらいたい」と話す。

ガーベラ最盛 色や品種多彩

三重・J A伊勢

【三重・伊勢】卒業シ

ーズンとなり、J A伊勢ではガーベラの出荷が最盛期を迎えている。J A管内の伊勢市は、温暖な気候と清流宮川・五十鈴川の水に恵まれていることから、花きの栽培が盛んで、ガーベラ栽培にも力を入れている。3月は、1年の中でも特に出荷量が多い。

17日には、同市のガーベラ生産者、杉浦健三さんが圃場（ほじょう）で一本一本丁寧に収穫。

「色や品種が多く、華やかで目を楽ませてくれるのが魅力。卒業シーズンは、ガーベラで思い出を彩ってほしい」と話した。

J A伊勢洋花部会では部会員5人がガーベラを栽培する。本年度は42品種を栽培し、大阪、名古屋、京都、県内市場へ約260万本を出荷する見込みだ。



スイートピーを収穫する生産者



ガーベラを収穫する杉浦さん